

宝塚歌劇 の 現在

100周年を超えて、また新たな展開を見せている宝塚歌劇。その魅力はどこにあるのか？そして、今後の展望は？

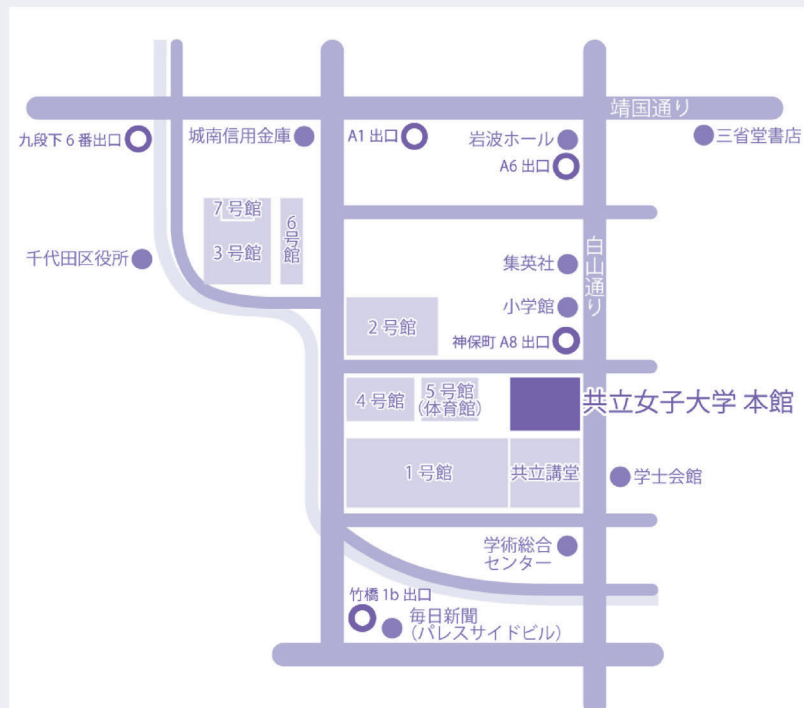
共立女子大学では、20年以上前から宝塚歌劇を授業に取り入れ、TAKARAZUKA1000 days劇場や、新築開場した東京宝塚劇場のほとんどの公演において、観劇会を実施してきました。

2013年には、日本演劇学会大会(テーマ「宝塚歌劇と世界の音楽劇」)を開催し、当時の小林公一理事長をお招きしてシンポジウムを行ないました。併せて、本館ロビーにて「宝塚歌劇展」「宝塚ポスター展」を、100周年にあたる2014年には、総合文化研究所主催の展示「宝塚歌劇100年の軌跡」を開催しました。

近年は、学会・研究会における歌劇をテーマとしたアカデミックな発表や論文も増え、文芸学部においては、宝塚歌劇を扱った卒業論文が累計で100本を超えました。

21世紀になって益々隆盛を見せる日本のミュージカル、最近の2・5次元ミュージカルブーム、今日では日本のパフォーマンス・アーツのユニークなジャンルの一つと見られるようになったレビュー、その中で宝塚歌劇団は確固たる位置を占め、世界からも注目されています。

このたびは、歌劇研究の第一人者である川崎賢子氏と素晴らしいゲストをお迎えして、講演会を企画しました。水夏希さんの活躍と、最近の歌劇団の舞台を、まず展示で振り返ってから、じっくりとお聴き下さい。



交通のご案内

- ◆神保町(東京メトロ半蔵門線・都営三田線・新宿線) A8出口から徒歩1分
- ◆九段下(東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線) 6番出口から徒歩5分
- ◆竹橋(東京メトロ東西線) 1b出口から徒歩3分

共立女子大学・短期大学

〒101-8437 東京都千代田区一ツ橋2-2-1
<http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/>

ポスター・プログラム展

- [期間] 2018年9月24日(月)～10月6日(土)
- [会場] 共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス本館1階ロビー
- [時間] 平日 10時～19時
土曜 10時～13時(最終日は12時まで)
- [休館日] 日曜
- [入場料] 無料
- [主催] 共立女子大学・短期大学総合文化研究所
- [協力] 共立女子大学文芸学部OGネットワーク

講演会

- [日時] 2018年 10月4日(木) 18時開始
- [講師] 川崎賢子氏(立教大学特任教授)
- [ゲスト] 水夏希氏(元宝塚歌劇団雪組トップスター)
- [会場] 共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス本館B101
- [参加費] 無料(事前申込不要)
- [主催] 共立女子大学・短期大学総合文化研究所
- [お問合せ] 共立女子大学文芸学部劇芸術研究室
Tel:03-3237-2574

◆講師◆

川崎賢子(かわさき けんこ)氏 [立教大学特任教授]

東京女子大学大学院修了。博士(文学)。作家、文芸・演劇評論家。日本映画大学教授を経て、現在立教大学文学部特任教授。『宝塚 消費社会のスペクタクル』(講談社選書メチエ 1999年)、『宝塚というユートピア』(岩波新書 2005年)、『尾崎翠 砂丘の彼方へ』(岩波書店 2010年)、『宝塚百年を越えて 植田紳爾に聞く』(国書刊行会 2014年)など著書多数。

◆スペシャルゲスト◆

水夏希(みずなつき)氏

元宝塚歌劇団雪組男役トップスター。宝塚歌劇の代表作『ベルサイユのばら』では、オスカル、アンドレなど主要人物4役を演じ、宝塚初の天覧公演の主役も務めた。10年宝塚退団後は舞台を中心に活動中。主な出演舞台:『屋根の上のヴァイオリン弾き』、『新版 義経千本桜』、ブロードウェイミュージカル『シカゴ』宝塚OGバージョン、クリエプレミア音楽朗読劇『ヴォイスリオン』、『エリザベト TAKARAZUKA20周年 スペシャル・ガラ・コンサート』、ミュージカル『アルジャーノンに花束を』、リーディング『パンク・シャンソン～エディット・ピアフの生涯～』、ミュージカル・コメディ『キス・ミー・ケイト』、『ラストダンサーブエノスアイレスで。聖女と呼ばれた悪女 エビータの物語』、夢幻朗読劇『一月物語』、等。